

福島県三島町
広報

平成 26 年 6 月 6 日発行
(毎月第 1 金曜日発行)

Public relations
of Mishima-town,
Fukushima in Japan

みしま

2014

Jun
水無月

6
No 255

心を一つに
力をあわせる

三島小学校・三島保育所
合同大運動会



6月 目次

2 大林ふるさとの山

カタクリ・さくらまつりに来場者 4,500 人

3 三島小・三島保育所合同大運動会 五月のスナップ

4 総合健診 (特定健診・がん検診)

6 TownNews8 みしまの出来事

町消防団春季検閲式／県立宮下病院で看護の日イベント開催／駅からハイキング／第 53 回三島町商工会通常総会／三島保育所交通安全教室／第 44 回交通安全母の会総会／「田舎暮らし体験ツアー」／地区要望現地調査

8 町民記者通信

早戸地区で講演会／宮下大膳広場オープン／大神楽公演を楽しむ／地区内道路の清掃に汗を流す／新緑の中で交流会／「こぶしの会」がごみ拾い／恒例の観桜会／ボランティア松原が道路清掃

10 民話 第 39 話 盗まれた観音様 第 40 話 小豆あらいの化け物

こんにちは。協力隊です。Vol.8

11 宮下病院からのお知らせ「心ある医療」出前講座のご案内／「保健・子育て・健康づくり予定／地域ふれあいサロン予定／6月の納税

12 町民記者委嘱／二瓶政一さん知事表彰／優良納税貯蓄組合表彰

13 労働保険の年度更新／東北電力からのお願い／個人事業税の納税／危険物安全週間

14 六次化推進事業募集／「子どもの人権 110 番」／印紙税が変わりました／ご寄附／町の人口と世帯／会津坂下警察署から

15 三島町職員採用候補者試験

16 長谷川雄一絵画展

撮っておきのみしま町フォトコンテスト



大勢の花見客で賑わった大林ふるさとの山 (撮影日 4 月 26 日)

カタクリとさくらの競演

大林ふるさとの山

約 4,500 人が来場

一気に暖かくなった 4 月後半、遅い春を迎えた大林ふるさとの山では、美しい花の競演が見られました。

例年、地元の西方地区と西方共有財産管理会の方々が整備を行い、西方カタクリの会の皆さんが、訪れる花見客をもてなしてきました。今年は、来春のディスプレイネーションキャンペーンを見すえ、4 月 26 日から 5 月 6 日までの期間「かたくり・さくらまつり」を開催。

まつり期間中、西方カタクリの会の皆さんが来場者に味噌団子やお茶をもてなし、その他、日替わりで商工会青年部の地鶏ラーメンや空色カフェのスイーツ、道の駅よつくら港の海産物などが販売され、まつりを盛り上げました。

23 日には、KFB 福島放送で夜桜の様子が生中継された影響もあり、11 日間で約 4,500 人が大林を訪れ、過去最多の来場者数となりました。



カタクリの会のみなさん



福島県大沼郡三島町 みしままち

三島町は、福島県の西部を流れる只見川沿いの小さな町です。優良な「会津桐」の産地として知られるほか、小正月の行事「サイノカミ」や、野山の材料で作る「編み組細工」などの伝統が受け継がれ、「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。

■面積 90.83km² ■人口 1,856 人 (5 月 1 日現在)





力いっぱい ベストを尽くす

今年から初めての合同開催 三島小学校・三島保育所 合同大運動会



三島小学校・三島保育所合同運動会が5月24日に行われ、子どもたちが勝利を目指して元気に競技にのぞみました。今年のスローガンは「力を合わせて、ほのおの紅組！いなずまの白組」紅組、白組それぞれが心を一つにして、さまざまな競技と応援合戦を繰り広げました。

今年から保育所と合同で開催された運動会、保育所の子どもたちも、小学校のお兄さん、お姉さんに負けないくらい元気にかけっこやダンスに取り組みました。

子どもたちの一生懸命な姿に、集まった家族は大きな声援を送りました。

子どもたちの元気な姿に雲が吹き飛ばされたかのように、空は青く晴れ渡り、絶好の運動会日和でした。太陽が肌を焦がし、子どもたちは日に焼けた元気な笑顔を見せました。

五月のスナップ

Memory of Mishima's Scene

雪国の長い冬を終え、草木が一気に生命力を増す5月目にする景色も、いつの間にか緑が濃くなります。

5月下旬三島でも田植え作業が各地で見られ、町の木の桐は例年よりも少し開花が早く、5月中旬からつぼみが色づきはじめ、5月下旬に桐の里は紫に染まりました。



総合健診（特定健診・がん検診）が始まります

①当町の一人当たりの医療費が再び増加しています。

②みんなが受診することで保険料負担が軽減されます。

急性心筋梗塞の死亡率

ワースト一位の福島県民

平成22年の都道府県別年齢調整死亡率で、福島県民の心筋梗塞による死亡率は全国でワースト一位でした。その他の病気でも全国平均よりも死亡率が高い状況です。

平成22年 年齢調整死亡率（全国）

死亡原因	死亡率 (福島県の順位)	
	男 性	女 性
脳 梗 塞	5 位	1 位
脳 血 管 疾 患	8 位	5 位
急 性 心 筋 梗 塞	1 位	1 位
大動脈瘤及び解離	5 位	2 位

平成23年 国民健康保険における生活習慣病の受療状況（県内）

病名	受療件数 (三島町の順位)
高 血 圧 症	4 位
虚 血 性 心 疾 患	4 位
糖 尿 病	28 位

高血圧、虚血性心疾患の受療件数が多い三島町
平成23年の国民健康保険における生活習慣病の受療状況において、町内では高血圧症と虚血性心疾患で病院にかかっている方が多い結果が出ています。これらの病気は心筋梗塞に結びつく生活習慣病であり、通院歴のある方は、特に注意が必要です。

当町の国民健康保険医療費は一人当たり27万5338円

当町では、平成24年国民健康保険の1人当たりの平均医療費が27万5338円でした。高齢化の影響があるものの、県平均の24万6391円を上回っており、県内で6番目に高い金額です。
医療費の保険負担分は皆さんから集めた国民健康保険税から支払われます。健診を受ける人が増え、みんなで病気を予防できれば、医療費など、ご加入の医療保険の負担（国民健康保険税）が減ります。
また、国では、健康増進に努力した個人に対する給付金や、健診受診率が70%をこえた保険者に保険料を軽減する仕組みを検討しています。

三島町の国民健康保険の一人当たりの医療費の推移

年 度	県平均	町平均	県内順位
平成7年度	183,161 円	199,112 円	6 位
平成8年度	188,769 円	223,744 円	2 位
平成9年度	188,974 円	253,209 円	1 位
平成10年度	188,978 円	217,948 円	2 位
平成11年度	187,749 円	239,014 円	1 位
平成12年度	187,312 円	225,818 円	2 位
平成13年度	188,627 円	205,921 円	9 位
平成14年度	180,866 円	226,308 円	1 位
平成15年度	184,398 円	237,631 円	1 位
平成16年度	187,661 円	255,776 円	1 位
平成17年度	195,810 円	231,617 円	5 位
平成18年度	200,915 円	233,192 円	7 位
平成19年度	214,285 円	268,174 円	2 位
平成20年度	218,662 円	257,924 円	5 位
平成21年度	220,555 円	260,625 円	5 位
平成22年度	226,350 円	239,929 円	16 位
平成23年度	234,407 円	230,208 円	35 位
平成24年度	246,391 円	275,338 円	6 位

◆お問い合わせ◆

役場 町民課 ☎ (48) 5565

定期的な健診で

医療費負担が減ります

健診を定期的に受けている人のグループと、受けていない人のグループの医療費を比較した研究で、健診を受けていないグループは医療費が40歳代で約2万円、70歳代で4万円近く多いという結果が出ました。脳卒中、心筋梗塞は重症になると月500万円もの医療費を支払わなければならない例もあります。現在健康な人も、将来の医療費負担を減らすために、健診による健康チェックが重要です。

改善の助言をしますので結果をご相談ください

町民のYさんは糖尿病で服薬していましたが、66歳時の特定健診で、網膜症、腎症、神経症等の合併症を起す危険のある値でした。その後、保健師、栄養士の助言により、自分の納得のいく方法で食事、運動に気を付けたところ、合併症予防の目標値まで血糖値が下がりました。

このように健診を受けて、数値が改善した方が大勢いますので、ぜひご相談ください。

町内のYさんの血糖値の推移

血糖値(JDS値)	66歳	67歳	68歳	69歳	70歳	備考
8.8 (8.4)						合併症の危険が非常に高い状態
8.2 (7.8)						
8.0 (7.6)						最低限達成が望ましい目標値
7.8 (7.4)						
7.6 (7.2)						
7.4 (7.0)						
7.2 (6.8)						合併症予防の目標値
7.0 (6.6)						
6.8 (6.4)						



町内の各地区の健診受診率(平成25年)

高清水	85.7%	西方	62.3%
滝原	83.3%	間方	61.5%
大谷	80.8%	大石田	59.2%
桑原	80.0%	名入	59.1%
荒屋敷	75.0%	浅岐	52.9%
小山	75.0%	中平	50.0%
大登	73.7%	宮下	46.2%
滝谷	69.0%	川井	40.6%
滝谷	63.0%	早戸	16.7%

家族・近所で声を掛け合い未受診を減らしましょう
病気になるってしまつてから、または自覚症状が出てからでは、身体的にも、経済的にも負担が大きくなつてしまいます。

「特定健診」で異常を見つけ、自覚症状がないうちに予防や治療を始めることで、自分自身だけでなく、周囲の方々を助けることにつながります。ぜひ、ご家族やご近所の方にも声をかけて、必ず健診を受診ください。

健診は6月13日から

みなさん必ず受診しましょう。

今年度の総合健診を下記のとおり実施します。

【総合健診】

▼日程

6月13日(金)・15日(日)
16日(月)・17日(火)

午前8時から受付

▼会場

町民センター

活用ください。

▼対象者

- ・がん検診(35歳以上)
- ・特定健診(40歳～74歳)
- ・健康診査(19歳～39歳、75歳以上)

▼内容

- 結核・肺がん検診
- 胃がん検診
- 大腸がん検診
- 前立腺がん検診
- 特定健診
- 健康診査
- (身体測定、血圧測定、尿検査、血液検査、心電図検査、眼底検査など)



無火災の決意新たに 町消防団春季検閲式

町消防団春季検閲式は4月28日に町民運動場で行われました。団員たちは青空のもと、通常点検、機械器具点検、小隊訓練、分列行進などに真剣に臨みました。二瓶隆司町長（統監）は「火災や災害から町民の生命と財産を守る地域防災の要として、ご尽力をお願いします」と訓示を述べました。各地区では毎晩の夜警を行い、火災予防に努めています。各ご家庭でも火の元に十分注意しましょう。



機械器具点検を行う二瓶隆司町長と来賓の方々



血圧、骨密度の測定後に健康相談を行った

「看護の心をみんなの心に」 県立宮下病院で看護の日イベント開催

県立宮下病院でナイチンゲール生誕の日の5月12日「看護の日」にちなんだイベントが実施されました。

血圧・骨密度測定、健康相談、ハンドマッサージ、非常食の展示や試食、手洗い体験、栄養相談などのコーナーが設けられ、地域の方々との交流を図りました。宮下病院では今年度から医師が3人から4人に増員されました。その他、出前講座の実施など、地域に必要とされる医療に努めています。

春を感じながらみしま散歩 駅からハイキング

「駅からハイキング」は5月3日に行われ、県内外から約20人が参加しました。JR東日本の企画で、町観光協会がコース設定と案内を行いました。会津宮下駅をスタートし、西方地区の岩倉山～大林ふるさとの山～歳時記橋を經由し、会津宮下駅に戻る約14kmの行程を歩きました。起伏の激しいコースでしたが、参加者のみなさんは見どころがあふれるコースで、春のハイキングを満喫しました。



会津宮下駅を出発し西方地区を目指す参加者



壇上であいさつを述べる佐久間源一郎商工会長

魅力ある商工業の再生を目指す 第53回三島町商工会通常総会

三島町商工会第53回通常総会は5月19日、商工会館で行われ、商工会会員や来賓など約40人が出席しました。佐久間源一郎会長のあいさつ後、永年勤続優良従業員として阿部賢市さん、菅家藤義さん、阿部政敏さんが表彰されました。

その後、二瓶隆司町長が「町でも各種イベントの実施や観光・物産のPR活動の拡充に努めます。町内経済の活性化のため積極的な事業展開をお願いします」と祝辞を述べました。

信号守って正しく横断 三島保育所交通安全教室

三島保育所の安全教室は4月24日に行われ、会津坂下警察署三島駐在所の三瓶裕巡查部長が、交通安全の大切さと事故に遭わないための注意点などについて、子どもたちに分かりやすく話しました。その後、子どもたちは外に出て、道路の安全な歩き方や信号機に従って横断歩道を正しく渡ることなどに気を付けながら町内を歩きました。外で遊ぶことが増えてくる季節です。交通事故に遭わないように注意しましょう。



交通ルールを守って宮下町内を歩く子どもたち



昨年度の決算や今年度の事業計画などが承認された

交通安全は家庭から 第44回交通安全母の会総会

第44回三島町交通安全母の会総会は4月24日、町民センターで行われました。交通事故犠牲者に対して黙とうをささげた後、大竹祐子会長があいさつしました。議事では平成25年度事業報告・収支決算と平成26年度事業計画・収支予算が承認されました。母の会では今年度も、交通事故防止県民総ぐるみ運動での街頭活動や飲酒運転撲滅のための啓発活動などを行います。

旬の山菜を採って味わう 「田舎暮らし体験ツアー」 松原地区

田舎暮らし体験ツアーは5月17、18日に行われ、町外から10名の方が参加しました。参加者は松原地区の方々から、山菜採りや山菜料理を教わりながら交流を深めました。参加者からは、「地区の方々と交流することができて良かった。料理も本当においしく、里山歩きもすごく面白かったのでまた来たい。」といった感想が聞かれました。今回のツアーではJR只見線を利用してもらい、利用促進をはかりました。



松原地区の方々によもぎ団子の作り方を教わる参加者



地区役員から要望箇所の説明を受ける町職員

地区要望について現地調査 区長などが要望内容を説明

地区要望の現地調査は5月19日から23日にかけて行われ、総務課、産業建設課と地区担当の職員が地区役員の案内により要望箇所を確認して回りました。松原地区では地区内の側溝の改修や防火水槽の整備などについて、海老名英機区長が説明しました。町では対応可能なものは早期に実施し、予算が必要なものについては国・県への要望を行います。



早戸地区で講演会

文・写真 町民記者 五十嵐 信一さん（早戸）



5月16日、早戸湯ノ平地区のつるのIORIで東北芸術工科大学を退職された廣瀬俊介准教授の講演会が行われました。早戸湯ノ平地区の遊歩道を取り上げた講演で、廣瀬先生は「むやみに開発し環境を壊すことなく、生態系に溶け込むような環境デザインが必要です」と話しました。

平成22年から毎年、廣瀬先生をはじめ東北芸術工科大学の教員や学生らにより遊歩道整備を行ってきました。今年もまた手直しが加えられる予定です。最後に廣瀬先生は、「この遊歩道の整備に尽力した故目黒卓男さんにこの講演をささげます」と話しました。



宮下大膳広場オープン

文・写真 町民記者 小島 純さん（宮下）

5月11日、宮下大善広場のオープニングが行われ、地区の方々のほか、二瓶隆司町長、杉明彦県会津若松建設事務所長が出席しました。この広場が今後、地域住民の憩い場となることを願ってテープカットを行いました。その後、参加者はこの日に合わせて開催したウォーキングに参加しました。その後、活性化センターでバーベキューを行い、懇親を深めました。



大神楽公演を楽しむ 桧原地区

文・写真 町民記者 佐々木 邦雄さん（桧原）



4月30日、毎年恒例の柳津の『藤の和大神楽』の公演が桧原多目的集会所で行われ、地区のみなさんが多数集まりました。

柳津の神楽は県の重要無形文化財に指定されている唯一の神楽で、会津地区をはじめ県内外でも活動されています。当日は9時から各戸を獅子入りしてまわり、13時より集会所でさまざまな演目が演じられ地区の皆様の歓声と笑い声が響き大変楽しい一時を過ごしました。



地区内道路の清掃に汗を流す 川井地区

文・写真 町民記者 角田 伊一さん（川井）

5月6日、川井地区では恒例の春道普請が実施されました。世帯から1名づつ参加者した人足は二手に分かれ、地区内の道路と上山沢、下山沢の町道や林道などの道普請を行いました。

雪解け後の路面には杉の葉や枯れ枝などが散乱しており、これで地区民が安心して通行できるようになりました。ただ、積雪で路肩の決壊した箇所が多数見受けられるため、復旧が必要です。





新緑の中で交流会 大石田地区

文・写真 町民記者 渡部 和さん（大石田）



5月18日、今年で3年目を迎える大石田福一蕎麦そばクラブ主催の交流事業「そば・じゃがいもオーナー制度」のオーナーら15名が大石田地区を訪れました。

地区の人たちと一緒にじゃがいも・さといもの植え付けをしたあと、美坂高原へ。クラブの女性たちが準備した山菜のご馳走を味わい、ウドなどの山菜採りを楽しみました。新緑輝く山の息吹を感じながら久しぶりの再会を喜び、交流を深める一日となりました。

「こぶしの会」がごみ拾い 滝原地区

文・写真 町民記者 板橋 博さん（滝原）

4月26日、滝原地区の「ボランティアこぶしの会」の方々が、国道252号のごみ拾いを実施しました。

午前10時より総会を開催し、その後、道路沿いのごみを拾いました。1時間ほどの作業で、多くのごみが集まり、いかにポイ捨てが多いか気付かされました。今後、ポイ捨てを少なくするために対策を考えていきたいと思います。



恒例の観桜会 高清水地区

文・写真 町民記者 菅家 敏一さん（高清水）



4月29日に「高清水・小山地区健康を守る会」と「地区老人会」共催の花見会が行われました。総勢33名が参加し、多くの方々と囲んでの談笑は、楽しく和やかで大変いい雰囲気でした。

健康を祈願し再開を楽しみに、万歳三唱で閉会しました。

ボランティア桧原が道路清掃 桧原地区

文・写真 町民記者 佐々木 邦雄さん（桧原）

5月6日、ボランティア桧原の方々が道路沿いのなどのクリーンアップ活動を実施し、毎年恒例となったこの活動に会員21人が参加しました。

開始式で海老名健代表が、挨拶した後、3班に分かれて約2時間ほど地区内の国道・県道・町道の計4kmを清掃し、ペットボトルや空き缶、プラスチックごみなどを回収しました。清掃終了後に開催された総会では、今年度の事業として桐寿苑の夏まつり協力とそば会が計画されました。



民話

第39話
盗まれた観音様

この浅岐にはなあ、ずいぶん昔から村の下手の神社に、なんと七体の観音様がおられたぞお。霊験あらたかな観音様だったからなあ、おもしえ話があんだあ。

さてある時、乞食がきてな神社さ泊まったでもあなべえ、七体の中から一体の御像を盗むど、夜の夜中逃げだどお。村はシ〜〜ンとしてべえ、泥棒はドキドキしながらギツチリと観音様抱いて村上の外れまで来て一服したじゅうだ。

「ああ〜ヤレヤレいい案配えだ。こんじえひともうけ出来る。」「さあて此処までくれば、後はさすけねえ」腰上げて出掛けべえどしたら「ん？あ〜っ？なんだなんだ？重でえ、動くよねえ」観音様が重だくてハア重だくて観音様おろすべえどしても体がらはなんにえだど。「かんべんしてくんつえ〜悪がったあ〜観音様あ〜」

泥棒は本気になって謝ったどお。泣き泣きあやまった。したらば観音様は泥棒のひざ元から落ちてコロコロ川

ん中さころげ落ちつつまたどお。いやはや、乞食泥棒はおつかながつて逃げてつたど。その観音様が神社から無くなったのもわがんねえで居たある日の事、村の男が川端通ると、川ん中がキラキラ光るちゅうだなあ。

「あれっ？なんだべえ」ジャボジャボ水ん中越えて光る物たんがったど。

「あれっ？これはあそこの観音様だあ」大騒ぎで村さ教えだど。

「やれやれ、良かったなあ。良かった」どつて、霊験あらたかな観音様は、元の神社んどござ納めだだど。

第40話
小豆あらいの化け物

昔むかしな二人のこめらが権現様さ行つただど。昔のこめらだから、今のよう

じゃが権現様のいのみの実を採りにいっただど。晩方だが食いたい一心で二人は手つないで行つたど。「あんちゃこれが？」「なんだもいだら袋さ入れる」

「うん」なんてしゃべりながら採つてだのなあ。したらば沢の方がら下手な声しんだど。「ん？だんじゃべえ？

あんちゃ」二人はかがんで音聞いたど「ザックザックアズキトギマシヨガヒトツテクイマシヨガザックザック」

「あんちゃ〜なんだどお？」「馬鹿だまつてろ」

「ザックザックアズキトギマシヨガヒトツテクイマシヨガザックザック」

暗すまがら見えだのは、ざんぎり頭のこめらの化け物だどお「ウワ〜ッおつかねえ〜」二人はハアハア逃げてきたど

暗くなつたら沢さは行がんにえぞ。小豆あらいの化け物出るちゅう話なおわり

元話 角田サクヨさん
若林キクヨさん (浅岐)

再話 五十嵐七重さん (西方)

こんにちは。協力隊です。

三島町地域おこし協力隊 三浦 健太郎

Vol.8
カタクリ・さくらまつりでのおもてなし

早いもので、6月1日で私が三島町に来てからちょうど1年になりました。思えば全く縁のなかった土地で、仕事はおろか1人暮らしさえも初めてという状況だったので、初めは本当に不安でいっぱいでした。それでも何とか地区の皆さんに支えられながら、1年間過ごすことができ、年間を通して町の魅力を実感できた気がします。

去る、4月26日〜5月6日「カタクリ・さくらまつり」が開催されました。テレビ放送の影響か、本当に多くの人が集まり、カタクリと桜の美しい景色をたくさんの人を楽しんでもらいました。しかし、まつりの後半は、花がほとんど散ってしまったため、がっかりしている人も多く見られました。来た人全員に満

足してもらおうというのは非常に難しいことです。見頃に間に合った人だけでなく、間に合わなかった人からも「また来年に来ます」と言ってもらえたので、来年は、その人たちに満足してもらうためにも、ホームページなどで常に最新の情報を発信し、町内に設置した看板で開花状況をわかるようにしておくなど、改善して来場者を迎え、きれいな花を見てもらいたいと思います。

大林にはカタクリとオオヤマザクラ以外にも、遅れて咲くヤエザクラなど、たくさんのお花が咲いていました。雄大な山の自然そのものに感動している人も多かったのも、このまつりが今後、より多くの人に楽しんでもらえる盛大なイベントになることを期待しています。



実施予定

総合検診

6月13日(金)・15日(日)・16日(月)・17日(火)
8:00～ 町民センター

子宮がん検診

6月10日(火) 9:30～ 町民センター
6月27日(金) 13:30～ 町民センター

骨粗しょう症検診

6月16日(月)～21日(土)
9:30～ 齋藤医院

4カ月児健診

6月10日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院
7月8日(火) 11:15～ 坂下厚生総合病院

3歳児健診

7月16日(水) 13:00～ 柳津町 銀山荘

足腰げんき教室

▶室内運動編

6月10日(火) 13:30～ 町民センター
7月8日(火) 13:30～ 町民センター

【申込先】町民課 福祉係 ☎(48) 5565

※この実施予定は、別に配付しました平成26年度健康づくり年間予定表から転記しています。

地域ふれあいサロン

浅岐あったかサロン

6月16日(月) 10:00～ 浅岐集会所

名入サロン

6月17日(火) 10:00～ 名入集会所

☎町社会福祉協議会 ☎(52) 3344

6月の納税

納期限 6月30日

▶町県民税(第1期)

忘れずにお納めください。
役場 町民課 町民係

県立宮下病院から

平成26年度宮下病院

「心ある医療」出前講座のご案内

地域の皆さまには、平素よりご支援、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。県立宮下病院では、平成20年より「心ある医療出前講座」を開催しております。宮下病院の医療スタッフが直接、皆さまの元へお伺いして、病気の予防や健康増進などをわかりやすくお話すものです。皆さまの日ごろの疑問解消や興味のある分野でお役に立てれば幸いです。

◆講座対象地域

三島町・金山町・柳津町・昭和村 (宮下病院の医療圏)

◆出前講座の対象者

対象地域にお住まいの方、もしくは勤務されている方(3名以上の個人・地区・職場・学校などの単位でお申し込みください。)

◆利用方法

希望する講座メニューを選び、県立宮下病院にお申し込みください。

③原則として、平日の午前9時から午後4時までの時間帯で実施し、日程は個別に調整します。また、日程調整に時間がかかる場合もございますので、お申し込みはお早めをお願いします。

《お申し込みの際は、以下の内容をお知らせ下さい》

①希望講座名 ②希望日時(時間帯) ③講演場所 ④聴講対象者およびその人数 ⑤申込者(代表者の氏名、住所、電話番号)

出前講座メニュー一覧

講座メニュー	担 当
①脳卒中を知ろう。防ごう。(予防から最新医療まで)	医師
②高齢者の転倒予防、寝たきり予防	看護師
③腰痛、膝痛の原因(若返りのための体操)	看護師
④高血圧予防教室(簡単な高血圧予防のお話)	看護師
⑤いつまでも元気に(新老人の会3つのスローガン)	看護師
⑥いつまでも元気に(健康は食べることから)	看護師
⑦生活習慣病って?(ちょっぴり運動を続けよう)	看護師
⑧生活習慣病(肥満について)	看護師
⑨生活習慣病(糖尿病を知ろう。防ごう)	看護師
⑩生活習慣病(脂質異常症ってなあに)	看護師
⑪感染予防のための正しい手洗い・うがい	看護師
⑫笑いと健康(笑って健康になろう)	看護師
⑬お薬の正しい知識(お薬との上手なつきあい方)	薬剤師
⑭お薬の正しい知識(お薬に関するQ&A)	薬剤師
⑮元気をつくる食習慣(バテない食事とは)	栄養士
⑯低栄養を防ぐ(美味しく、楽しく食べる習慣を)	栄養士
⑰便秘予防と食事(おいしく食べてスッキリ快便)	栄養士

☎県立宮下病院 ☎(52) 2321

二瓶政一さん県知事から表彰状 平成 26 年度各種功労者知事表彰

平成 26 年度各種功労者知事表彰において、鳥獣保護員の二瓶政一さん（名入）に佐藤雄平知事からの表彰状が授与されました。



感謝状を受ける鳥獣保護員の二瓶政一さん

優良納税貯蓄組合表彰

町納税貯蓄組合連合会総会は 5 月 13 日に町民センターで開催され、席上で優良納税貯蓄組合表彰が行われました。

表彰は、10 年以上引き続いて町税を完納した組合に対して行われ、今回は、西方第 5 納税貯蓄組合、西方沼田納税貯蓄組合、早戸第 2 納税貯蓄組合が表彰されました。

総会では、全ての議案が原案どおり可決され、役員改選では下記の方が任命されました。

会 長	二 瓶	議 氏	大谷納税貯蓄組合
副会長	小 松	昭 八 氏	西方第 1 納税貯蓄組合
理 事	五十嵐	勝 男 氏	宮下商業納税貯蓄組合
理 事	酒 井	佐 一 氏	宮下第 1 納税貯蓄組合
理 事	板 橋	健 也 氏	滝原納税貯蓄組合
監 事	五十嵐	敏 氏	大石田第 1 納税貯蓄組合
監 事	高 橋	卓 衛 氏	西方第 5 納税貯蓄組合



西方沼田納税貯蓄組合長の青木喜章さん（右）



写真左 西方第 5 納税貯蓄組合長の高橋卓衛さん（右）



写真右 早戸第 2 納税貯蓄組合長の板橋佐内さん



10 人を広報みしま町民記者に委嘱



広報みしま町民記者に委嘱された皆さん

広報みしま町民記者の委嘱は 5 月 19 日、町長室で行われ、地区から推薦された 10 人に委嘱状が手渡されました。

町民記者は、地区での話題などを取材し、広報みしまへの寄稿を行うことで、行政側の視点に偏らず、町民目線での情報提供をもとに、身近な広報誌を目指すものです。

今年度から新たに 3 名の記者が加わり、10 人の町民記者の方々に、地区の話題を提供してもらいます。

広報みしま町民記者

小 島	純さん（宮 下）	継 続
角 田	伊 一さん（川 井）	継 続
佐々木	邦 雄さん（桧 原）	継 続
坂 内	洋 二さん（西 方）	継 続
渡 部	和 さん（大石田）	継 続
五十嵐	信 一さん（早 戸）	継 続
菅 家	敏 一さん（高清水）	継 続
角 田	陽 市さん（大 登）	新 規
五十嵐	公 男さん（名 入）	新 規
板 橋	博 さん（滝 原）	新 規

◎ 引き続き町民記者を募集しています ◎

▶ 公募人数＝数人程度 ▶ 業務＝「広報みしま」への寄稿（町内の各種活動・話題等で、広報する内容として認められるもの）▶ 方法＝写真と記事の提供（手渡しでも電子メールでもお受けします）▶ 貸与＝小型デジタルカメラ 1 機、腕章 ▶ 報償金＝寄稿 1 件につき 2 千円

【応募先】役場 地域政策課 ☎（48）5533

個人事業税の納税をお忘れなく

個人事業税は、県内に事務所・事業所を設けて、物品販売業や不動産貸付業など、一定の事業を営んでいる方に納めていただく県の税金です。

会津地方振興局県税部から送付される納税通知書により、年税額を8月(第一期分)と11月(第二期分)の2回に分けて納めることになっています。

ただし、年税額が1万円以下の場合には、8月(第一期分)に一括して納めることになります。

口座振替納税をお勧めします

個人事業税については、便利な口座振替の制度があります。手続きは、納税通知書に同封の預金口座振替依頼書を金融機関に提出し、金融機関で確認を受けた納付書送付依頼書を県税部に提出して行います。なお、詳しくは下記までお問い合わせください。

問 県会津地方振興局県税部 課税第一課 事業税チーム
☎ 0242 (29) 5251

危険物安全週間

6月8日～6月14日

『危険物 読みはまっすぐ ゼロ災害』

「危険物安全週間」は、危険物の保安に対する意識の高揚と啓発を推進するために、毎年6月の第2週に全国で実施されています。

危険物には、ガソリン、灯油、軽油などの燃料のほか、塗料、エアゾール製品、プラスチック、化学繊維の原料などがあり、私たちの生活に幅広く使用されています。その取り扱いを誤ると、大きな災害を引き起こす危険性があります。特にガソリンは揮発性が高く、静電気でも引火します。給油などでガソリンを取り扱う際は、静電気を除去し、タバコなどの火のついたものを近づけないように十分注意して取り扱しましょう。

危険物を取り扱う事業者はもちろん、家庭でも危険物の安全な取り扱い、廃棄、保管方法などについて再確認し、危険物に関する事故や災害を防ぎましょう。

問 会津坂下消防署三島出張所 ☎ (52) 3032

労働保険の年度更新等のお知らせ

平成26年度の労働保険の年度更新の申告期限は7月10日です。期限までに、最寄りの銀行、郵便局、労働基準監督署、福島労働局において手続きをお願いします。

・労働保険の年度更新は電子申請を、労働保険料等の納付は口座振替をご利用ください。

問 福島労働局 総務部 労働保険徴収室
☎ 024 (536) 4607

東北電力からのお願い

発電所やダムから水を流したときの水難事故を防ぐため、各所に注意札を立てています。水を流すときは、スピーカーやサイレンによってお知らせしますので河原にいる人は危険ですから、すぐ安全な場所に移動されるようお願いいたします。

次の時にスピーカーをならします

- ①ダムから初めて水を流す約10分前
- ②発電所から初めて水を流す10分前
- ③発電所の出力を増やし水を多く流すとき
(放送内容)

「今から川の水が急に増えます。河原にいる人は危険ですから、すぐ上がってください。」

※毎日9時にスピーカーの音を実際に鳴らして、装置の点検を行っています。

次の時にサイレンをならします

- ①ダムの流入量が毎秒1,000m³に達したとき
- ②ダムの流入量が毎秒2,000m³(洪水量)に達したとき
- ③ダムの流入量が洪水量を超えた後、

以降毎秒1,000m³増加毎

(警報内容)

サイレン
 10秒休み

サイレン
 10秒休み

サイレン


《河川への不法投棄はやめましょう!!》

問 東北電力株式会社技術センター制御室
☎ 0242 (22) 2220

只見川ダム管理所
☎ 0241 (52) 3422

阿賀野川水系ダムの状況を当社HPから閲覧出来ます。

東北電力HP－災害に備えて－阿賀野川水系ダム情報

会津坂下警察署からのお知らせ

三島町での刑法犯(4月) **0**件

宝くじがらみの詐欺にご注意

県内において、「ロト6」という宝くじの当選番号を利用した詐欺事件が相次いで発生しています。「ロト6」は選んだ6つの番号が全て当たると1億円程度の当選金となる宝くじです。

◆事前に当選番号を知っているように見せかける

情報提供会社を名乗る詐欺犯人から電話が入り、「明日発表されるロト6の当選番号を知っている。明日の朝刊を見れば本当だと分かる。」と言われ1等の当選番号を伝えられる。

◆事前提供情報と朝刊の合致で真実と思込ませる

犯人が事前に伝えてきた当選番号は、既にインターネット上で発表されている番号で、インターネットを利用しない高齢者の方などは、朝刊との合致で犯人側の話を真実だと信じてしまう。(インターネットでは朝刊よりも先に当選番号が公表されており、その時間差を利用している。)結果、高額当選金が後々入ることを前提に、保証金や預り金等の名目で多額の現金がだまし取らる。

●事前に当選番号がわかる宝くじはありません!!

街頭犯罪発生件数(1月~4月)

区 分	管 内	三島町
強 盗		
空き巣ねらい	4	1
忍 び 込 み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自動車盗		
オートバイ盗		
自転車盗	3	
自販機ねらい		
車 上 ね ら い		
ひ っ た く り		
部 品 ね ら い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	7	1
全 刑 法 犯	29	1

※全刑法犯には街頭犯罪以外(器物損壊、暴行、傷害、万引き、詐欺など)の犯罪発生件数が含まれます。

＜税務署からのお知らせ＞

印紙税が変わりました

平成26年4月1日から「印紙税法」が改正されています。

①「領収書」等の非課税範囲の拡大

これまで、記載された受取金額が3万円未満のものが非課税とされていましたが、平成26年4月1日以降、非課税範囲が受取金額5万円未満のものまで拡大されました。

②「不動産譲渡契約書」や「建設工事請負契約書」の印紙税軽減措置の延長及び拡充

軽減期間が平成30年3月31日まで延長されるとともに、契約金額が1千万円超のものに適用されていた軽減範囲及び税額が、平成26年4月1日以降、1千万円以下の一部にも拡大され、1千万円超のものはさらに軽減されました。

印紙税の非課税の範囲または納付する印紙税額(貼付する印紙税の額)が、これまでと異なりますので、お間違いのないようご注意ください。

詳しくは国税庁ホームページ(www.nta.go.jp)をご覧ください。

ご寄附

ありがとうございました

町社会福祉協議会へのご寄附
(ご遺志によるもの)

長谷川 雄 一 様(川 井)
堀 内 武 雄 様(名 入)
山 内 寿 一 様(西 方)
角 田 一 郎 様(早 戸)
伊 東 勝 美 様(西 方)

町の人口と世帯 5月1日現在

人口	1,856	1	出生	0
男	897	9	死亡	3
女	959	-3	転入	11
世帯	824	7	転出	2

③住民基本台帳による数値です。増減は前月との比較、出生・死亡・転入・転出は前月1カ月間に届出のあった人数です。

六次化推進事業募集

奥会津五町村活性化協議会では、六次化を推進する事業者を募集しています。

この事業は、奥会津五町村に本拠を置く事業者が、奥会津の農林水産資源を活用した商品の開発や既存商品の改良、販路開拓・拡大などに着手する場合、その経費の一部を助成するものです。

●助成限度額 **100万円**●申請期限 **7月4日(火)まで**

●奥会津振興センター

☎0241(48)5525

全国一斉

「子どもの人権110番」
強化週間

法務省人権擁護局と全国人権擁護委員連合会は、6月23日から6月29日までの7日間、全国一斉「子どもの人権110番」強化週間として、いじめや嫌がらせ、虐待、体罰など、子どもの抱える人権問題について、電話相談を実施します。相談は市町村の人権擁護委員及び法務局職員が応じ、秘密は守られます。お気軽にご相談ください。

なお、強化週間の期間以外の日(土・日・祝日を除く)においても、午前8時30分から午後5時15分まで、相談に応じていますのでご利用ください。

●期 間

6月23日(月)~6月29日(日)まで

●時 間

午前8時30分~午後7時まで

※6月28日(土)、29日(日)は

午前10時~午後5時まで

相談電話(フリーダイヤル)

0120-007-110

●福島地方法務局人権擁護課
福島県人権擁護委員会連合会

町を愛する方へ あなたの力を求めています

平成 27 年 4 月採用 三島町職員（大卒程度）採用候補者試験

◆試験職種	一般行政事務（若干名）
◆受験資格	昭和 54 年 4 月 2 日以降に生まれた者で、4 年制大学を卒業（民間企業等社会人経験者も可） または平成 27 年 3 月までに卒業見込みの者
◆一次試験	平成 26 年 7 月 27 日⑩ 試験会場 福島大学（福島市金谷川 1 番地） 合格発表 三島町役場掲示板に受験番号を掲示するほか、合格者に通知します。
◆二次試験	一次試験合格者に通知します。
◆受付期間	平成 26 年 6 月 27 日⑪まで ⑫郵送による申し込みは、平成 26 年 6 月 26 日⑬までの消印のあるものに限る。
※受験申し込み方法などについては、三島町役場総務課へお問い合わせください。	
☎三島町役場 総務課 ☎ 0241 (48) 5511	



春宵

原版彫り進めによる多色摺り木版画 長谷川雄一 絵画展

6月14日(土) ~ 7月13日(日)

休館日 6月16日(月)、23日(月)、30日(月)、7月7日(月)

開館時間 ▶ 午前9時から午後5時まで
(最終入館午後4時30分)

入場料 ▶ 町民無料 ▶ 高校生以下無料
▶ 町民外=大人300円、65歳以上150円

はせがわ・ゆういち

1945年、会津若松市漆職人の長男として生まれる。齊藤清に師事。三島町松原にアトリエ「子午線工房」を開く。2013年千葉県大網白里市に長谷川雄一版画空間を開設。

三島町交流センター 山びこ
<http://www.yuruibata.jp/>

福島県大沼郡三島町大字名入字諏訪ノ上418
☎ 0241 (52) 2165

素敵な三島町をみつけよう

第4回「撮」っておきのみしま町フォトコンテスト作品募集

テーマ ▶ 三島町に関すること

募集締切 ▶ 平成26年8月20日(※)まで

作品規定 ▶ A4サイズで、1人3点まで応募可能です

応募方法 ▶ 交流センター山びこに郵送か持参してください。

応募者本人が撮影した、三島町に関する写真に限ります。

被写体が人物の場合は、必ず本人の承諾を得てください。

第3回三島町長賞 受賞作品



「只見川を照らす月明かり」佐山勝信さん